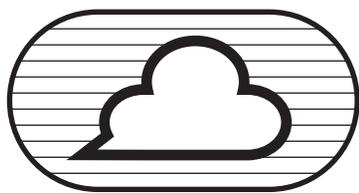


輸入品の増加でカバー

野菜缶



くもり

17年の国内供給量（びん詰含む）は36万7千t、前年比7・5%増。国内生産量は4万9千tで、3・7%減。16年の台風被害で大減産となった北海道産のスイートコーン缶詰が若干のプラスとなったが、15年比の2割程度と厳しい状況。そのほか、たけのこやマッシュルーム、トマト、ゆであずき等の主力品が軒並み減産となった。供給量の8割超を占める輸入品は31万8千t、9・2%増。タケノコ

やトマトピューレ、スイートコーン、マッシュルームなど主力品を中心に輸入品の存在感が増している。

野菜缶の国内供給量

